

	まつのちょう 松野町	〒798-2192 北宇和郡松野町大字松丸343番地		電話 番号	(0895) 42-1111
		地域 指定	過疎 山振 農工 辺地(1) モ定住 特農 農振 国立公園 拠点都市	FAX	(0895) 42-1119 (代表)

<http://www.town.matsuno.ehime.jp/>

〈沿革〉

昭30. 3.31 合併 吉野生村・松丸町

〈市町のあらまし〉

愛媛県の西南部に位置し、高知県と境を接する山間の町である。町土の84%は森林で、国立公園「滑床渓谷」を有し、広見川・目黒川等の豊かな水は天然うなぎ・川ガニの宝庫である。
その昔、土佐街道の要所で、物流・交易の場として栄えその町並みは今なお保存されている。
桃・茶・梅・ユズや雷漬の特産品づくりが盛んであるほか、地域資源を活かした観光交流事業や県境地域と連携した施策の推進、企業誘致と地場産業の振興に力を注いでいる。

〈由来〉

昭和30年3月18日、松丸町、吉野生村合併促進協議会の委員の投票の結果、数多くの町村名候補の内、松丸町の「松」吉野生村の「野」を一字ずつとって松野町とすることに決まった。

〈庁舎の建設年度〉

建築年度	増 改 築	主な増改築箇所
昭36年度		
平11年度	増	別館(書庫棟)

〈行政組織〉

(令和 2. 11. 28現在)

区 分	名 前	任 期
町 長	さかもと ひろし 坂本 浩	令和 6.11.27
副町長	中井 慶仁	令和 5. 3.31

議 会 (令和 3. 2. 17現在)

議長	村尾 重利	副議長	関本 豊
議員	(条例定数) 7人 (現 員) 7人		
任期	令和 5. 2.24		

職員数 (令和 2. 4. 1現在)

普通会計	72人
企業会計	13人
その他会計	6人
計	91人

〈人口・世帯数〉

()は増減率

区 分	平2国調	平7国調	平12国調	平17国調	平22国調	平27国調	令 2. 1. 1住基
人 口	(△6.3%) 5,325	(△5.4%) 5,038	(△2.6%) 4,906	(△4.4%) 4,690	(△6.7%) 4,377	(△7.0%) 4,072	3,920
男	2,495	2,364	2,329	2,211	2,067	1,887	1,845
女	2,830	2,674	2,577	2,479	2,310	2,185	2,075
世帯数	1,673	1,711	1,779	1,815	1,748	1,675	2,050

年齢構成（平27国調）

区 分	14歳以下	15歳以上64歳以下	65歳以上
人 口	354 人	1,984 人	1,726 人
構成比	8.7 %	48.7 %	42.4 %

選挙人名簿
登録者数（令和2.9.1現在）

男	1,578 人
女	1,758 人
計	3,336 人

〈土地利用〉

（平27.2.1現在）（ha. %）

総面積 令和2.7.1 (km ²)	林野面積	林野率	経営耕地面積			宅地化率 令和1.1	
			田	畑	樹園地		
98.45	8,230	83.6	326	224	34	67	1.7

〈産 業〉 産業構造

（百万円・人）

区 分	総生産額(平29年度)		就業人口(平27国調)	
	金額	率	人数	率
第1次	361	4.4 %	291	16.2 %
第2次	2,130	25.6 %	335	18.7 %
第3次	5,815	70.0 %	1,165	65.0 %
計	8,306	100.0 %	1,791	100.0 %

（注）「総生産額」の計欄は帰属利子の控除等を行っており、「就業人口」の計欄は分類不能の人数を含む。

主要製造業（平30年）

（百万円）

品 名	製造品出荷額等
※各品名における製造品出荷額等は、1又は2の事業所に関する数値で、これをそのまま掲げると個々の申告者の秘密が漏れるおそれがあるため秘匿とした。	

所得（平29年度）

1人当たり 市町民所得	2,221 千円
----------------	----------

令和元年度の主な建設事業

（百万円）

今後の主な建設事業

（百万円）

事 業 名	事 業 費	事 業 名	事 業 費
庁舎及び防災拠点施設建設事業	74	庁舎及び防災拠点施設建設事業	1,875
がけ崩れ防災対策事業	108	がけ崩れ防災対策事業	901
町道改良事業	146	町道改良事業	738
道路維持補修事業	50	橋梁修繕事業	660
最終処分場法面補強事業	49	町道舗装修繕事業	392
保健体育施設等改修事業	41	橋梁長寿命化改修事業	300
獣肉処理加工施設改修事業	29	史跡河後森城跡環境整備事業	192
農林水産施設（林業用施設）災害復旧事業	26	児童館建設事業	102

〈観光・レクリエーション〉

名勝旧跡	国立公園「滑床溪谷」 伊井公園 天ヶ滝 不器男記念館 国指定史跡河後森城跡 国指定重要文化財日黒山形模型 一位檜 逆杖のイチョウ 森の国ぼっぼ温泉
観光施設	四国ぼけ封じ三十三観音霊場 虹の森公園(四万十川学習センターおさかな館、森の国ガラス工房、かごもり市場、レストラン遊鶴羽)、森の国ファーム
祭り 催し物	桃源郷マラソン大会(4月上旬) 桃まつり(7月上～中旬) 滑床山開き(4月下旬) 滑床まつり(7～8月中旬) 森の国の夏まつり(8月中旬) 秋まつり(10月第4日曜日)、 松野四万十バイクレース(6月)、文化祭(11月上旬) 不器男忌俳句大会(2月下旬) 森の国戦国武者伝走(12月)
公 営 宿泊施設	

〈名物・特産品〉

天然うなぎ かに 桃 梅 茶 栗 ユズ ガラス製品
森の国ブランド認定品…柚子ジャム、桃ジャム、雪輪あられ、松野町産南高梅、ピーチワイン「なめとこ」、風雷坊、雷漬、
生芋こんにゃく、手もみ茶、梅シロップ、梅そうめん、桃サイダー

〈主な公共施設〉

地区公民館 小学校(2) 中学校 保育所 診療所 保健センター 隣保館(2) 健康増進センター
日黒基幹集落センター スポーツ広場(クロッカー場) コミュニティセンター(屋内運動場) 不器男記念館
日黒ふるさと館 吉野生山村広場 スポーツ交流センター 吉野生交流促進センター
虹の森公園(四万十川学習センターおさかな館、森の国ガラス工房、特産品販売所、レストラン遊鶴羽、かごもり市場)
育苗施設、総合営農指導拠点施設、学校共同調理場、森の国ドーム(屋内多目的広場)
梅処理加工施設、ふれあい交流館(森の国ぼっぼ温泉・観光福祉・松丸駅舎複合施設)

〈主要課題〉

基本方針 『小さな町の大きな挑戦』
重点施策目標 1. 健やかで生きがいに満ちた“森の国”(健康・福祉)
2. 賑わいと活気にあふれた“森の国”(産業・雇用)
3. 安全で快適な暮らしの“森の国”(環境・防災)
4. 子どもたちの夢が広がる“森の国”(教育・子育て)
5. 揺るぎない行財政基盤の“森の国”(行革・協働)

〈地域づくりの事業等〉

- ・ふる里まつりの会 都会の人々を対象に年会費15,000円で会員を募集し、特産品の直送(年5回)を行っている。
- ・滑床まつり 町内の若者が中心となって、滑床溪谷や道の駅を舞台にくり広げられるユニークなイベントで、ファミリーアドベンチャー・釣り大会、滑床沢歩き、森の国の夏祭り等を実施。
- ・不器男の里記念事業 不器男忌俳句大会、俳句の小径
- ・河後森城跡史跡公園整備事業 国指定史跡河後森城跡を歴史・自然体験学習や憩いの場などに活用するため、発掘調査、環境整備事業等を行う。
- ・森の国まつりの応援団 本町出身の都市在住者により応援団を結成し、情報交換や町政に対する意見、提言を行う。
- ・戦国絵巻のまちづくりプロジェクト 予土県境地域であるが故の地域資源を活用した新たな観光集客力向上に資する取組

〈市町が出資している地方公社の設立状況〉

(令和 2. 4. 1現在)

形態	地方公社の名称	設立登記 年月日	資本金(千円) 出資割合(%)	主 な 事 業 内 容
(株)	松野町農林公社	平10. 4. 8	45,000 (96.9)	野菜苗、花壇苗の生産・供給 農作業等受委託 新規就農者育成のための研修
(株)	まちづくり松野	平28.12.26	50,400 (99.2)	観光地の環境整備 観光情報の収集・提供 イベント企画・実施 飲食販売

〈総合計画〉

基 本 構 想			基 本 計 画
計 画 の 名 称	議決年月日	期 間	期 間
第5次松野町総合計画		平27～令6年度	(前期)平27～令元年度 (後期)令2～令6年度

〈行政機構〉

(令和 2. 4. 1現在)

